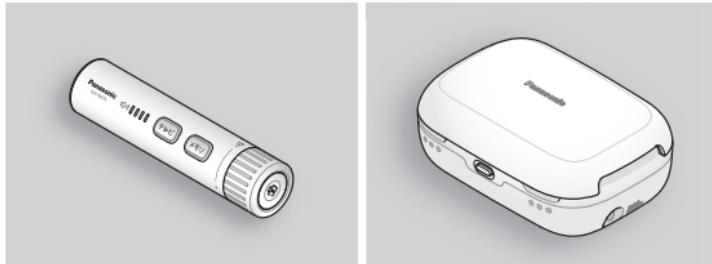
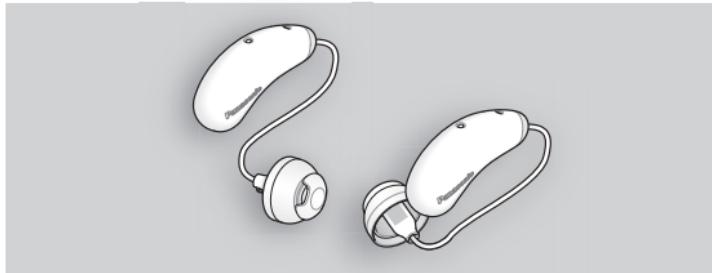


管理医療機器 耳かけ型補聴器



保証書別添付

- ・取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ・ご使用前に「安全上のご注意」(9~24 ページ)を必ずお読みください。
- ・保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

Panasonic®

取扱説明書 R4シリーズ

| 品 番 | |
|-------|------------|
| 補聴器本体 | WH-R47 |
| | WH-R45 |
| | WH-R43 |
| リモコン | WH-PM19 |
| 充電ケース | WH-PK1104J |

ご使用前に

準

備

使いかた

その他

はじめに

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この製品は、お客様の聞こえを補助するための補聴器です。

他の目的に使用しないでください。

補聴器の装用効果は、適切なカウンセリングに基づく機種の選択と、お客様ひとりひとりの聞こえの状況に合わせた調整により、その効果が発揮されます。

本製品のご使用に際しては、必ずお買い求めの販売店で聞こえの相談と調整を受けてください。調整が不適切な場合、耳を痛める原因となります。

また、お客様の聞こえは、補聴器を使用していても聴力が低下する場合があります。

ご使用の前に、医師や販売店の専門家にご相談ください。

もくじ

| | |
|------------------------|----|
| 付属品 | 4 |
| ワイヤレス機能について | 7 |
| スマートフォンの使用について | 8 |
| 安全上のご注意 | 9 |
| 販売店の方へ | 25 |
| 取り扱い上のお願い | 26 |
| 初めてお使いになる方へ | 28 |
| 各部のなまえとはたらき : 補聴器 | 29 |
| イヤチップについて | 30 |
| 補聴器の電源入切 (自動切換)について | 31 |
| 各部のなまえとはたらき : リモコン | 33 |
| リモコンに電池を入れる | 34 |
| 充電する | 35 |
| 充電に関するご注意 | 39 |

| | |
|-----------------|----|
| 補聴器を耳につける/使用する | 40 |
| 補聴器を耳から外す | 42 |
| 電話の音声を聞く | 43 |
| リモコンを使用する | 44 |
| 音量を調節する | 46 |
| ミュート(消音)にする | 47 |
| メモリを切り換える | 48 |
| モードを切り換える | 49 |
| テレビの音声を聞く | 50 |
| 初期音量を設定する | 54 |
| お手入れをする | 55 |
| イヤチップセンターについて | 57 |
| イヤホンユニットの交換について | 58 |

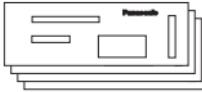
| | |
|--------------|----|
| 無線機能についてのお願い | 60 |
| 故障と思われましたら | 63 |
| 仕様および性能 | 67 |
| 保証とアフターサービス | 74 |

付属品

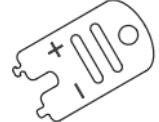
ご使用前に

補聴器(右耳用、左耳用 各1個※)の他に下記の付属品が同梱されています。
万一、不足のものがありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店にご連絡ください。
※印のある付属品は()内が片耳の場合の数量です。

| | | | |
|---------------|---|----------------|---------------------------|
| リモコン.....1 | 充電ケース.....1 | キャリングケース.....1 | USB-DCケーブル…1 |
| | | | |
| ACアダプター.....1 | ※イヤホンユニット…2 (1) (本体に取付済) (イヤホンユニット(HP)の 場合、外観が異なります) | ブラシ.....1 | 単4形アルカリ乾電池 (リモコン用) ……1 |
| | | | |

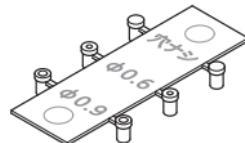
| | |
|-----------------|---|
| 取扱説明書(本書) … 1 | |
| |  |
| ※保証書……………4 (3) | |
| |  |
| 添付文書……………1 | |
| |  |
| かんたんガイド……………1 | |
| |  |
| ※電池交換チケット…2 (1) | |
| |  |
| (R45、R47のみ) | |

イヤホンユニット(S)または(M)の場合

| | |
|---|---|
| ※イヤチップセット……………2 (1) | ※イヤチップ ソーター…2(1) |
|  |  |
| オープン型 クローズ型 ダブルドーム型 | |
| ※耳あかガード……………6 (3) | ※耳あかガード 交換ツール…2(1) |
|  |  |
| (うち2個(1個)はイヤホン ユニットに取付済) | |

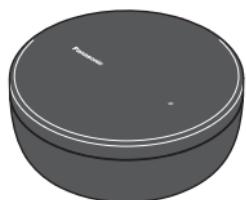
つづき

イヤホンユニット(HP)の場合

| | |
|--|---|
| ※オーダーメイドイヤチップ…2 (1) | ※ベントチップ……2 (1) |
|  (イヤホンユニットに固定) |  (ベントありの場合) |
| ※耳あかガード……………8 (4) | ※ドライバー (耳あかガード交換用) ……………2 (1) |
|  (うち2個(1個)はイヤホン ユニットに取付済) |  |

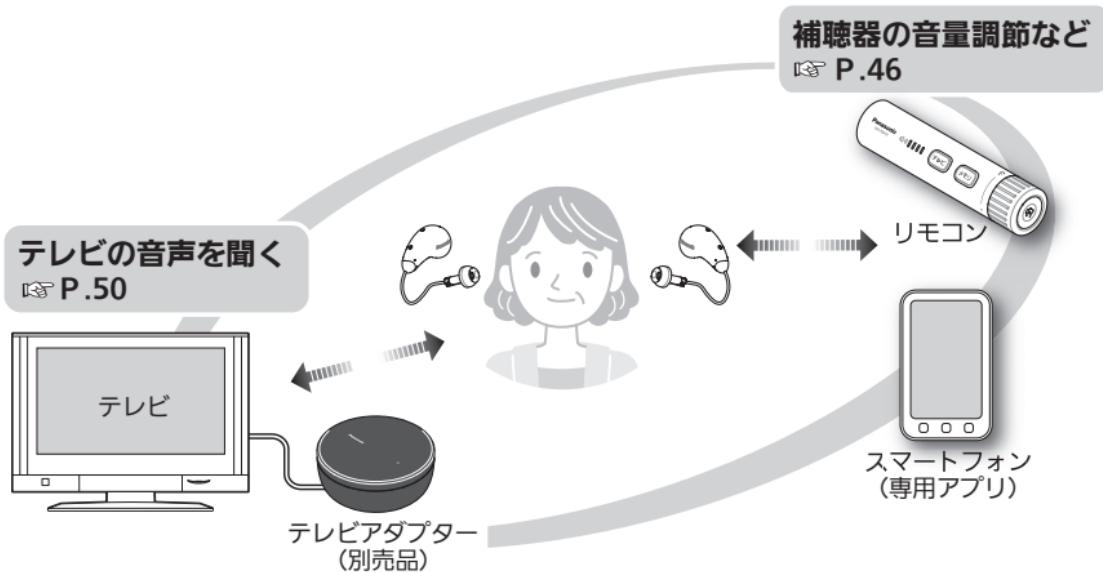
別売品

お買い上げの販売店に
ご相談ください。

テレビアダプター
(WH-0M1303J)

ワイヤレス機能について

本機を使用して次のことができます。



本機は別売りのテレビアダプター (WH-0M1303J) と接続し、テレビの音声をワイヤレスで聞くことができます。(☞ 50 ページ)

付属のリモコンや本機と接続したスマートフォン(☞8 ページ)で音量調節などの操作を行うことができます。

スマートフォンの使用について

本補聴器はスマートフォンと接続・通信し、音量調節などの操作を行うことができます。
本補聴器を操作するスマートフォン用アプリケーションは、以下に対応しています。
(2017年8月現在)

- iPhone、iPad : iOS10.3以降
- Androidスマートフォン : Android 5.0以降

パナソニック補聴器のサイトから、専用アプリケーションのダウンロードサイトにリンクしています。

<https://panasonic.jp/hochouki/download/>



iPhone、iPadはApple Inc.の商標です。

Androidは、Google Inc.の商標です。

本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない
内容です。



実行しなければ
ならない内容です。



気をつけていた
だく内容です。

充電池・充電ケース

⚠ 危険

分解・改造したり、火の中へ投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしない



補聴器は充電池を使用しています。
電池の液もれや、発熱、破裂の原因となります。

自分で充電池の交換をしない

充電池の交換は弊社の専門家しかできません。
専門家以外の人が、間違った交換を行うと、充電池の液もれや、発熱、破裂、機器の故障の原因となります。

充電池の交換については必ず販売店にご相談ください。



充電は、本機（補聴器本体、付属のUSB-DCケーブル、ACアダプター、充電ケース）を使う

本機以外で充電すると、電池の液もれや、発熱、発火、破裂の原因となります。

⚠ 危険



充電ケース内部に金属などの異物(金属ストラップ含む)がある状態で充電しない
火災、故障の原因となります。

本充電ケースを補聴器本体以外の電池の充電には使用しない
電池の液もれや、発熱、発火、破裂の原因となります。

補聴器本体・リモコン・充電ケース・ACアダプター・USB-DCケーブル



⚠ 警告

ご本人以外の人に使用させない
他の人が使用すると、耳を痛める原因となります。
特にお子さまが触れないようにご注意ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流(AC)100V以外での使用はしない
たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

安全上のご注意

必ずお守りください

つづき

ご使用前に

補聴器本体・リモコン・充電ケース・ACアダプター・USB-DCケーブル

！警告

充電ケースのACアダプターやUSB-DCケーブルを破損するよう
なことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、
ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

- ・傷んだまま使用すると、感電、ショート、火災の原因となります。
- ・ACアダプターやUSB-DCケーブルの修理は、販売店にご相談ください。



乗り物を運転中に操作しない

事故の原因となります。

- ・歩行中でも周囲の状況に十分ご注意ください。特に、踏切や横断歩道など
ではご注意ください。

心臓ペースメーカーの装着部に近づけない

補聴器・リモコンからの電波が心臓ペースメーカーの作動に影響を及ぼす
場合があります。

- ・心臓ペースメーカー近傍(15cm以内)では、本機を使用しないでください。

⚠ 警告



医療機器の近く(手術室、集中治療室など)では使用しない
補聴器・リモコンからの電波が医療機器に影響を及ぼす場合があり、誤動作による事故の原因となります。



ぬれた手で充電ケースのACアダプターやUSB-DCケーブルの抜き差しはしない

ぬれ手禁止 感電の原因となります。



改造しない、分解しない

分解禁止

機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因となります。
手や指、耳を痛める原因となります。

- ・ 内部の点検や修理、充電池の交換は、販売店にご相談ください。
- ・ 異常(故障)が発生したり、調整が必要な場合は、販売店にご相談ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

つづき

補聴器本体・リモコン・充電ケース・ACアダプター・USB-DCケーブル

⚠ 警告

中耳炎などの既往歴がある場合、補聴器を使用する前に耳鼻咽喉科医師の診察を受ける

- ・鼓膜が弱くなっている場合があります。
- ・補聴器本体が耳から急にはずれると耳を痛める原因となります。



充電ケースのACアダプターやUSB-DCケーブルは確実に根元まで差し込む

- ・差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。
- ・傷んだ充電ケースのACアダプターやUSB-DCケーブル、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

⚠警告

充電ケースのACアダプターやUSB-DCケーブルのほこりなど は定期的にとる

- 充電ケースのACアダプターやUSB-DCケーブルにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。充電ケースのACアダプターやUSB-DCケーブルを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、充電ケースのACアダプターやUSB-DCケーブルを抜いてください。



異常があったときは、充電ケースのACアダプターやUSB-DC ケーブルを抜く

- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 落下などで外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音が出たとき

そのまま使うと、火災、感電の原因となります。

安全上のご注意

必ずお守りください

つづき

補聴器本体・リモコン・充電ケース・ACアダプター・USB-DCケーブル

⚠ 警告

航空機内での補聴器・リモコンの使用可否は搭乗の航空会社に確認する

航空機内での電子機器の利用制限は、航空機の機体ごとに定められています。



使用前に、イヤチップがはずれかけていないか確認する

イヤチップが完全にはめ込まれていないと、脱落し、耳に残ります。

イヤチップの交換は販売店にご相談ください。

⚠ 注意

外出時にはキャリングケースを携帯し、電源が切れるようにする

この補聴器は電源が入っている状態では、リモコンとの通信用に電波を出し続けています。特に病院や飛行機内ではご使用になれない場合があります。

その場合には、キャリングケースに収納して補聴器の電源を切ってください。
(☞ 32 ページ)



⚠ 注意

音量を上げすぎない

大きすぎる音量は、聞こえを悪くする原因となります。



異常に温度が高くなるところに置かない

外装ケースや内部部品が劣化したり、火災の原因となります。

- 特に真夏の車内(ダッシュボードなど)、トランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になりますので、補聴器・リモコンを絶対に放置しないでください。

強い電波、磁力を出す機器のそばでは使用しない

(MRI検査室には持ち込まない)

大きな雑音が出て、耳を痛める原因となります。雑音が出るときは、使用をやめるか、その場所から離れてください。



接触禁止

雷が鳴ったらACアダプターには触れない

感電の原因となります。

安全上のご注意

必ずお守りください

つづき

補聴器本体・リモコン・充電ケース・ACアダプター・USB-DCケーブル

⚠ 注意



販売店で取り付けたイヤホンユニット以外は使用しない

上記以外のイヤホンユニットに交換すると、音量などが変わり、耳を痛める原因となります。

補聴器はお使いになる方の聞こえ具合に合うように調整する
調整は販売店に依頼してください。

使用前に音量を確認する

大きな音のまま耳に付けると、耳を痛める原因となります。
適切な音量に調節してください。



傷やひび割れなどを確認する

傷やひび割れなどがある状態で使用した場合、手や指を痛める原因となります。
・お手入れの際、シンナー、アルコール、ベンジンなど有機性の溶剤は使わないでください。ケースの変形やひび割れの原因となります。

⚠ 注意

体に異常があるときは使用をやめる

頭痛、めまい、耳の痛みや皮膚の炎症（はれ、湿疹など）など、体に異常があるときにそのまま使用すると、症状が悪くなるおそれがあります。使用を中止し、医療機関にご相談ください。



付属のUSB-DCケーブル、ACアダプターを使用する

付属以外のUSB-DCケーブル、ACアダプターを使用すると、火災や感電の原因となります。本製品に同梱されたUSB-DCケーブル、ACアダプターは、本製品以外の製品に使用しないでください。



補聴器本体を取り外したときは、必ず以下のことについて注意する

- ・補聴器本体を取り外したときは、イヤチップが耳に残っていないか、補聴器本体にイヤチップが付いているか確認してください。
- ・イヤチップが破れたときは使用しないでください。
- ・イヤチップが耳に残って取り出せない場合は、耳鼻咽喉科にご相談ください。

付属品



誤って飲み込む危険性のある人の手の届くところに置かない



補聴器本体・付属品などを飲み込まないようにご注意ください。

特にお子さまが飲み込まないようにご注意ください。

- ・万一飲み込んだ場合は、ただちに医療機関にご相談ください。

⚠ 注意

電池は誤った使いかたをしない

- ・ 加圧、加熱、分解したり、水などの液体や火の中に入れたりしない
- ・ ネックレスなどの金属物と一緒にしない
- ・ $+$ と $-$ を針金などで接続しない



取り扱いを誤ると、液もれ、発熱、発火、破裂などを起こし、火災やけが、周囲を汚損する原因となります。

- ・ 万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
 - ・ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。
- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

安全上のご注意

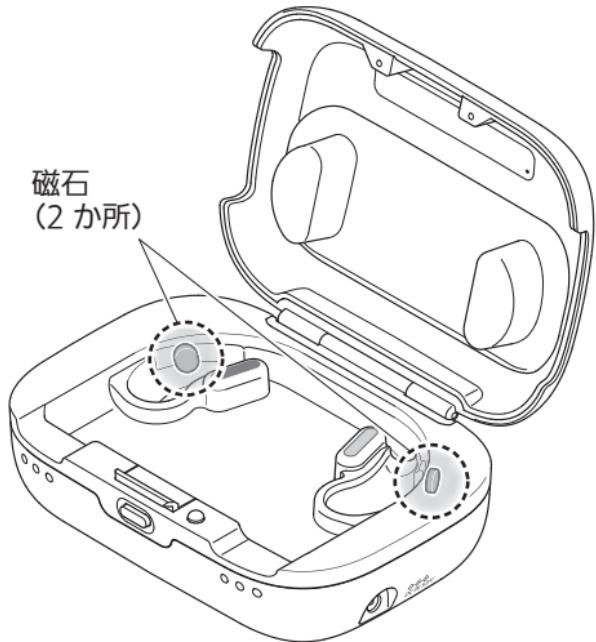
必ずお守りください

つづき

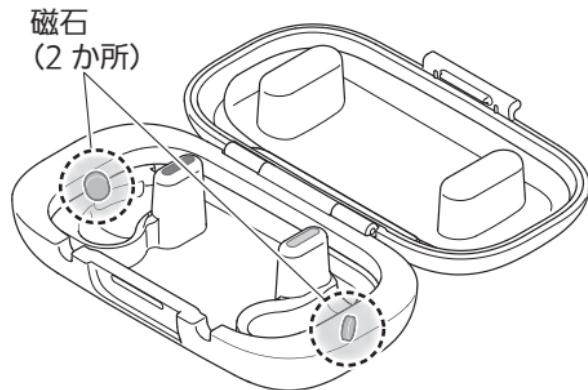
充電ケース・キャリングケース

充電ケースとキャリングケースには下図に示した付近に磁石が内蔵されています。

■充電ケース



■キャリングケース



⚠ 注意

磁石の付近に磁気記録媒体(フロッピーディスク、各種カード類、磁気テープ、プリペイドカード、切符など)を近付けない
記録が破壊されたり、磁化されて使用できなくなるおそれがあります。
(☞ 22 ページ)



充電中には充電ケースに磁気記録媒体(フロッピーディスク、各種カード類、磁気テープ、プリペイドカード、切符など)を近付けない
充電中は充電ケースから磁場が発生します。
記録が破壊されたり、磁化されて使用できなくなるおそれがあります。

安全上のご注意

必ずお守りください

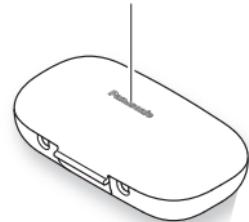
つづき

ご使用前に

●キャリングケースの開け方

補聴器本体は出荷時キャリングケース内にあります。

(Panasonic ロゴが上面)



⚠ 注意

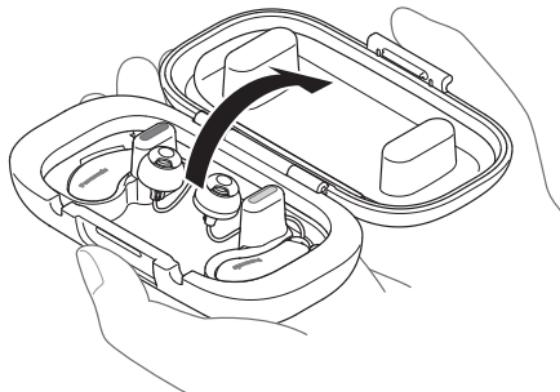


補聴器が落下した場合は、そのまま放置しないでください。
誤って踏んだりすると破損し、けがをするおそれがあります。

1 手のひらに乗せ、ケース下半分を
しっかり保持する



2 扉のロック部を指で持ち上げる
ように開ける



販売店の方へ

■ お客様が下記8項目のうちいずれかに該当する場合は必ずお客様へ耳鼻咽喉科(補聴器相談医)の受診をおすすめください。

1. 耳の手術を受けたことがある。
2. 最近3ヶ月以内に耳漏があった。
3. 最近2ヶ月以内に聴力が低下した。
4. 最近1ヶ月以内に急に耳鳴りが大きくなつた。
5. 外耳道に痛みまたは、かゆみがある。
6. 耳あかが多くたまっている。
7. 聴力測定の結果、平均聴力の左右差が25 dB以上ある。
8. 聴力測定の結果、500, 1,000, 2,000 Hzの聴力に20 dB以上の気骨導差がある。

■ 補聴器とリモコンには、個々の機器それぞれ固有の識別番号が書き込まれており、互いの番号を設定してあることによって、お客様保有以外の補聴器・リモコンとは接続されない仕組みになっています。そのため、故障修理などで新しい補聴器・リモコンに交換される場合は、その固有番号を設定する必要がありますので、弊社までご相談ください。

■ 補聴器の調整は、販売店で専門家が行ってください。調整が不適切な場合、耳を痛める原因となります。調整について分からぬことがありますら下記にお問い合わせください。

パナソニック補聴器サポートセンター

電話
フリー
ダイヤル



受付9時～17時30分
(日、祝、年末年始、お盆を除く)
0120-870663

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
※左記の内容は予告なく変更する場合があります。
ご了承ください。
※ご使用の回線(IP電話や光電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

取扱上のお願い

必ずお守りください

●耳漏(耳だれ)の出る方は、治療してからお使いください

中耳炎などで耳漏(耳だれ)の出ている方は、治療が終わるまで使用しないでください。耳漏(耳だれ)によって音孔がつまり、音が悪くなったり、よく聞こえなくなったり、また故障の原因となることがあります。

●耳あなを清潔に保ってください

耳あかがたまっていると、装着時に音孔などがつまり、音が聞こえなくなります。

●取り扱いはていねいにしてください

落としたり強い衝撃を与えないでください。傷やひび割れが発生することがあります。

●ポケットに入れたまま洗濯しないでください

●海外で使用しないでください

補聴器およびリモコンは、日本国内のみでの使用を意図して設計されたものです。

●装着時、外耳道などに痛みが生じるときは、使用をやめ販売店にご相談ください

●就寝時・仮眠時は補聴器を外してください

●日焼け止めクリーム、整髪料、ヘアスプレー、化粧水などの化学薬品を補聴器本体に付着させないでください

●高温・水気・湿気を避けてください

- ・シャワー、お風呂、サウナ、水泳、補聴器本体に直接当たるような大雨などのときには補聴器を外してください。
- ・ぬれた手で触らないでください。
- ・洗髪やヘアスプレー使用時は、補聴器を外してください。
- ・洗髪したときは、よく髪を乾かしてから使用してください。
- ・台所、風呂場、ストーブの上や真夏の閉め切った車内などには放置しないでください。

●砂浜、砂場などの砂の上に直接置かないでください

●結露したときは、結露がとれるまで常温でよく乾かしてください

●機器認定について

補聴器本体・リモコンは、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。無線局の免許は不要です。ただし、補聴器本体・リモコンを分解／改造すると法律で罰せられることがあります。

●防水・防塵についての注意事項

本補聴器は、防水・防塵に配慮した設計をしていますが、完全防水ではありません。そのため、補聴器の内部に水が入る場合があります。内部に水が入ると故障のおそれがあるため、下記に注意して使用ください。

- ・補聴器を水や液体に浸したり、洗ったりしないでください。また、故意に水などに濡らすことはおやめください。
- ・強い水流を当てたり、水中に沈めたりしないでください。
- ・防水性能は、紫外線、摩擦、薬剤などで経年劣化します。
- ・汗や水で濡れたときは、乾いた布ですぐに拭いてください。
- ・電子レンジやドライヤーを乾燥目的に使用しないでください。
- ・リモコン・充電ケースについても、水に濡れるような場所で使用しないでください。

初めてお使いになる方へ

補聴器をつけてすぐには言葉の内容が聞き取りにくいものです。毎日、疲れない程度に、使い続けてください。下図のように4つの段階で、急がず徐々に使用時間を増やして、ゆっくりと慣れてください。

1 静かな場所で自分の声を聞いてみる



2 静かな場所でご家族やお友達と対談してみる



3 テレビ(ニュース)を周りの人達と同じ音量で聞いてみる



4 静かな場所で4~5人の人と話をしてみる



使用上のお願い

- ・慣れるまでは疲れの原因にもなりますので、初めから音量を上げすぎないようにしてください。

ご家族の 本人が補聴器を使いこなせるようになるまで温かく応援してください。
皆様へ ご家族や周囲の方々の協力や心づかいが何よりの励みになります。

各部のなまえとはたらき：補聴器

電源スイッチ

(内蔵：磁気感知スイッチ)

自動で電源の入/切を

切り替えます。

(☞31 ページ)

充電池（内蔵）

コイン型リチウム二次電池

が内蔵されています。

(☞39 ページ)

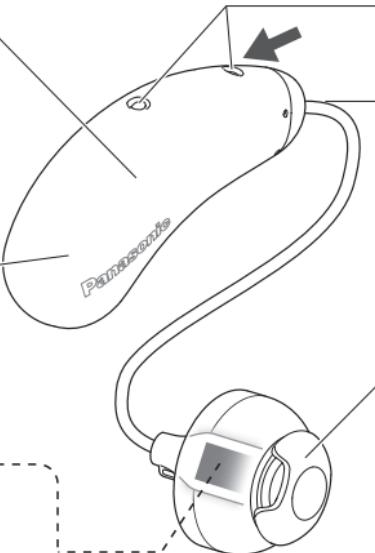
イヤホンの左右識別表示



赤色：右耳用



青色：左耳用



マイクロホン

音の入力部です。

←：音の入射方向

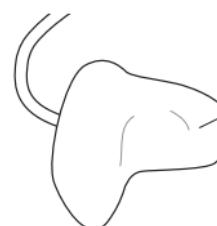
イヤホンユニット

イヤチップ

イヤホンユニット (S)
または (M) の場合

耳あなサイズに合わせて
選べます。

(☞30 ページ)



オーダーメイドイヤチップ
イヤホンユニット (HP)
の場合

イヤホンユニットに固定
されています。

イヤチップについて (イヤホンユニット(S)または(M)の場合)

準備

お客様の耳孔の大きさに合わせて選択したサイズのオープン型・クローズ型・ダブルドーム型のイヤチップセットを付属しています。サイズが合わないときや、聞こえの状態によって交換することができますので、販売店にご相談ください。



オープン型



クローズ型※

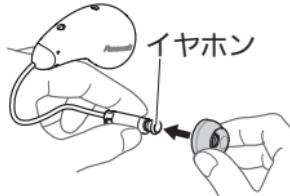


ダブルドーム型※

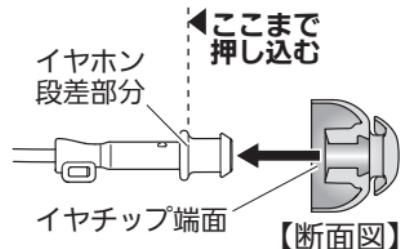
※こもり感を感じたり音量感が変わることがありますので、ご使用になる場合は、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

1 イヤホン部分をしっかり持って固定させ、イヤチップを押し込む

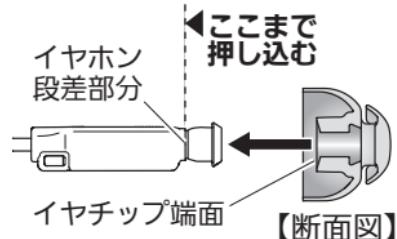
- ・完全にイヤホンに取り付けられているか、また簡単に外れないかを確認する。



イヤホンユニット(S)



イヤホンユニット(M)



■取り付け後の確認

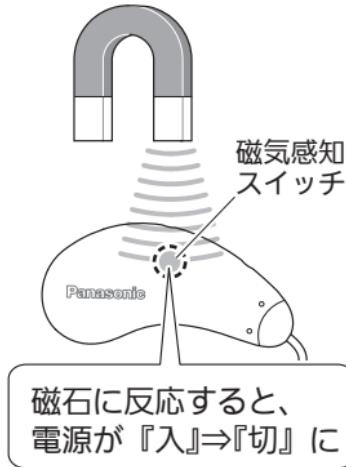
- ・挿入不足や斜め挿入などで、すき間ができるないことを確認してください。正しく取り付けができていないと、耳孔にイヤチップが残るおそれがあります。

補聴器の電源入切(自動切換え)について

電源スイッチ(内蔵:磁気感知スイッチ)

自動で電源の入／切を切り替えます。

お客様自身がボタンやツマミを操作して電源の入／切を操作する必要はありません。



補聴器を使用中に、磁力を持ったものを近接させると、電源が『切』になってしまう場合があります。その場合には、磁力を持ったものを補聴器から遠ざけてください。

使用上のお願い

電源の入／切は、必ずキャリングケース(または充電ケース)で行う

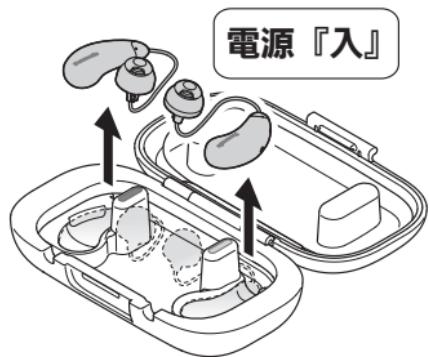
キャリングケース(または充電ケース)以外の磁石に近付けて補聴器の電源を切り換えるのはやめてください。強すぎる磁石に近付けると、補聴器が故障する場合があります。

補聴器の電源入切(自動切換え)について つづき

補聴器の電源を入れる

キャリングケース(または充電ケース)から取り出す(☞38ページ)

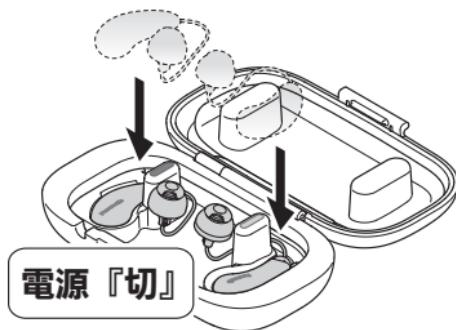
- ・自動的に電源が『入』になります。



補聴器の電源を切る

キャリングケース(または充電ケース)にセットする(☞36ページ)

- ・自動的に電源が『切』になります。



- ・取り出した状態では、使用していないでも電源は常に『入』状態で、電池残量が減少します。補聴器を使わないときは、キャリングケース(または充電ケース)にセットして電源を『切』にしてください。
- ・電源『入』になってから周りの音が聞こえるまでに数秒間お知らせ音が流れます。
- ・周りの音が聞こえはじめる時間を設定することができます。(販売店にご相談ください)

各部のなまえとはたらき：リモコン

ホールドボタン

補聴器の状態を維持(ホールド)します。(短く押す)

- ・ホールド状態では、補聴器の誤動作を防止するために、メモリボタン・テレビボタンの切換・音量調節の機能を停止します。(☞44ページ)

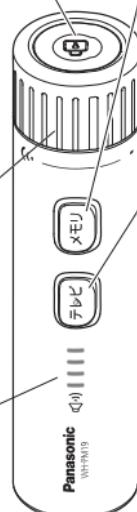
補聴器のマイク音を消音状態(ミュート)にします。(長く押す)(☞47ページ)

音量ダイヤル

音量を調節します(☞46ページ)

LEDランプ

- ・現在の音量を表示します。(緑色：補聴モード
橙色：テレビ/音楽モード)(☞46ページ)



メモリボタン

- ・メモリ(音質の設定)を切り替えます。(☞48ページ)
- ・補聴モードに切り替えます。(☞49ページ)
- ・初期音量(補聴器の電源を入れたときの音量)を設定します。(☞54ページ)



テレビボタン

- ・テレビモードに切り替えます。(☞49ページ)
- ・テレビモード⇒音楽モードを切り替えます。(R47、R45のみ)(☞49ページ)
- ・テレビアダプターと補聴器の無線チャンネルを設定します。(☞51ページ)

ストラップ取付け用穴

電池フタ (☞34ページ)

準

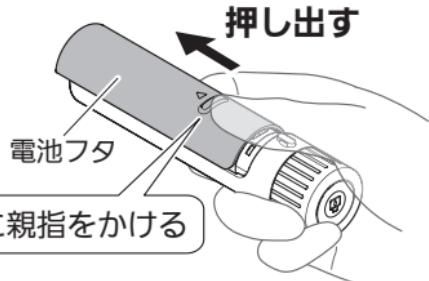
備

リモコンに電池を入れる

■電池の入れ方

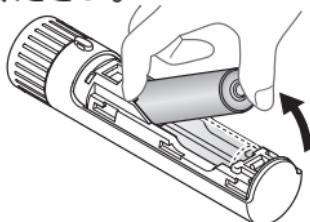
- ・単4形アルカリ乾電池を使用します。(パナソニック製アルカリ乾電池をおすすめします)
- ・電池寿命: 約90日です。(通常使用の場合、使用のしかた、環境によってこれより短くなる場合があります)

1 電池フタを外す



電池交換する場合

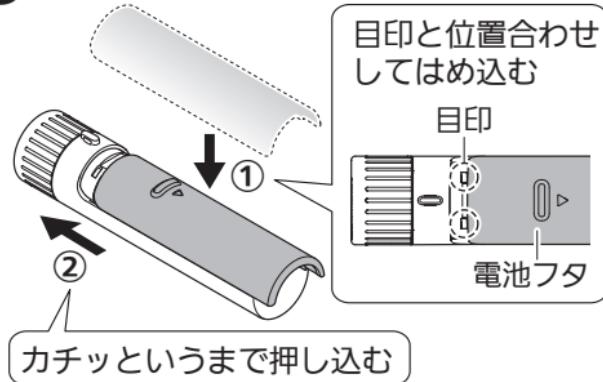
電池の端に指をかけて上側へ引っ張り出してください。



2 電池を入れる

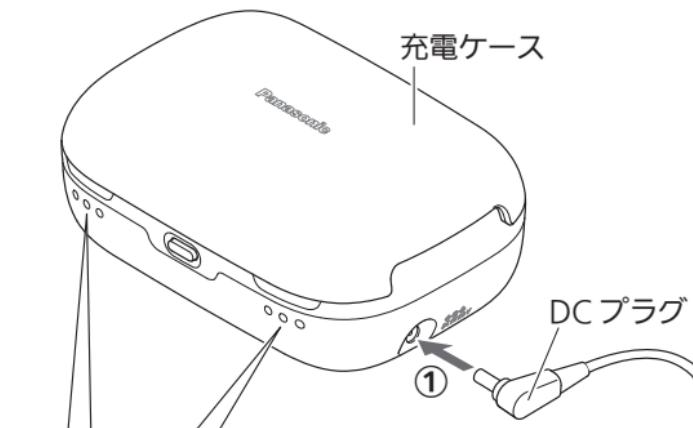


3 電池フタを取り付ける



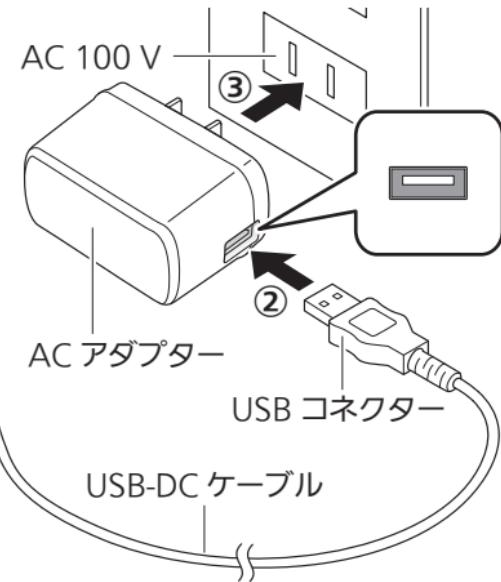
充電する(ご購入直後は、まず充電をしてください)

1 DCプラグを充電
ケースに差し込む



2 USBコネクターをAC
アダプターに差し込む

3 ACアダプターを
コンセントに差し込む



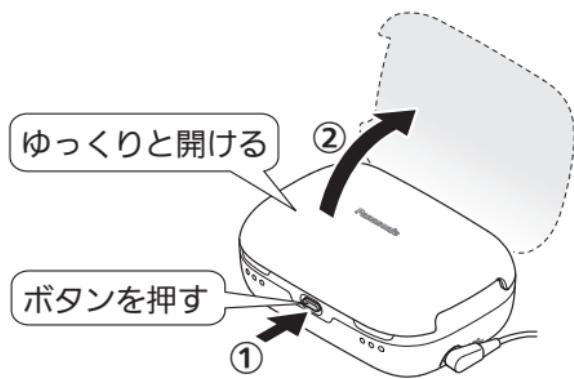
・充電中は補聴器として使用できません。

・長期間使用しないときは、節電のためACアダプターをコンセントから抜いておくことを
おすすめします。

・USB-DCケーブルの接続は根元まで確実に行ってください。

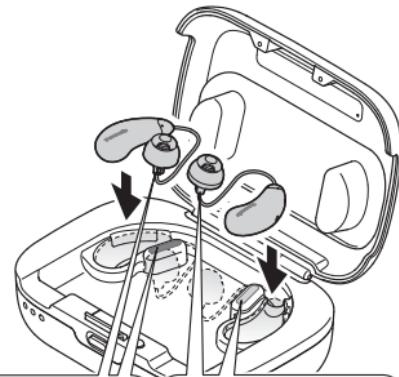
4 充電ケースを開ける

- ・フタは図の位置で止めることができます。



5 補聴器を充電ケースにセットする

- ・補聴器の左右や向きに注意してください。



使用上のお願い

- ・補聴器を充電ケースにセットする前には必ず、金属などの異物（金属ストラップ含む）が充電ケース上にないことを確認してください。
- ・充電ケースには、補聴器以外の物を載せないでください。
- ・ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- ・補聴器や充電ケースに水分や汚れが付着している場合は、柔らかい布でふき取ってからセットしてください。

6 充電ケースのフタを力ちとロックされるまで閉じ、充電を開始する

- 充電ケースに補聴器をセットし、フタを閉じると充電が開始されます。



- 補聴器の設定や使用状況によって、充電完了時間が左右で異なる場合があります。
- LED ランプが橙色点灯・点滅する場合や、6 時間以上たっても緑色全点灯にならない場合は、「故障と思われましたら」をご参照ください。(☞65、66 ページ)

充電経過表示

通常は、3 時間以内に充電完了します。

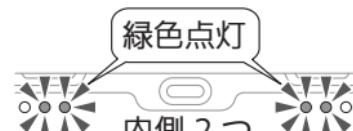
【充電 1/3 未満】



【充電 1/3 以上完了】



【充電 2/3 以上完了】



【充電完了】



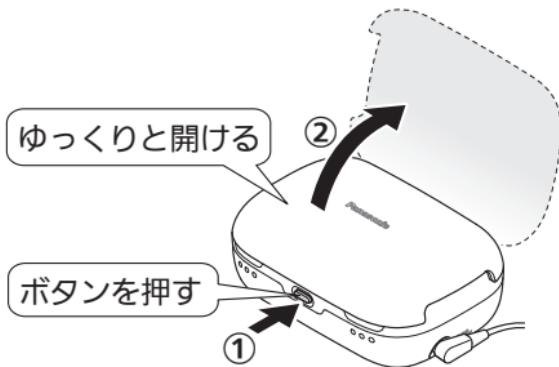
充電する

つづき

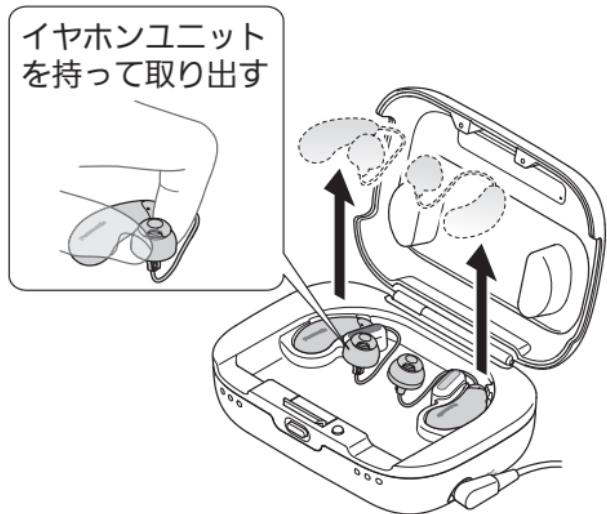
準備

7 補聴器を使用するときに、充電ケースを開ける

- ・フタは図の位置で止めることができます。
- ・LED ランプが消灯します。
- ・充電の途中でフタを開けると、充電は停止します。



8 補聴器を取り出す



充電後すぐに使用しない場合

そのまま充電ケースにセットしておくか、キャリングケースにセットしてください。
充電ケースから取り出すと、自動的に補聴器の電源が『入』になるため、電池残量が少しずつ減少します。

充電に関するご注意

■充電について

電池残量が少なくなり空に近くなると、「充電してください」というアナウンスが聞こえます。お早めに充電ケースにセットし、充電してください。(☞ 35 ページ)

- ・充電可能温度範囲は、7 ℃～35 ℃です。
- ・充電時間は約3 時間です。
(充電開始時の電池残量によって変わります。電池残量が多いければ、充電時間は短くなります)
- ・充電完了後の連続使用時間は、補聴モード：約24 時間、テレビモード：約8 時間です。
(例：イヤホンユニット(S)の場合)
※使用条件や電池の消耗具合によって異なる場合があります。(☞ 69 ページ)

○上手なご使用・充電のしかた

1 日1 回、夜お休みになる前に充電ケースにセットし、一晩充電させる。
(翌朝には充電が完了し、朝から使用できます)

×良くないご使用・充電のしかた

- ・一日の中で、“ちょっと使い／ちょっと充電”を繰り返す。
- ・補聴器を使用しないまま何ヶ月も長期間放置(特に温度の高い場所で)する。
※電源『切』状態でもごくわずかに放電がつくため、電池の劣化が進む場合があります。

準
備

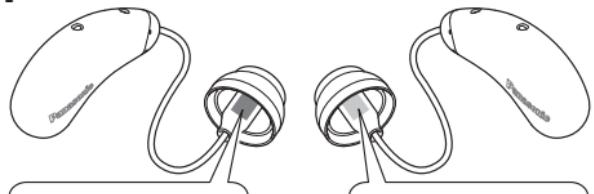
■補聴器本体の電池交換については、必ず販売店にご相談ください

- ・補聴器本体に小型のコイン型リチウム二次電池を内蔵しています。
- ・充電回数が増えるにしたがって、ごくわずかに劣化していき、最終的には補聴器本体の電池交換が必要となります。
- ・劣化を少なくし、電池寿命をなるべく延ばすためにも、左記の「上手なご使用・充電のしかた」でご使用になることをおすすめします。

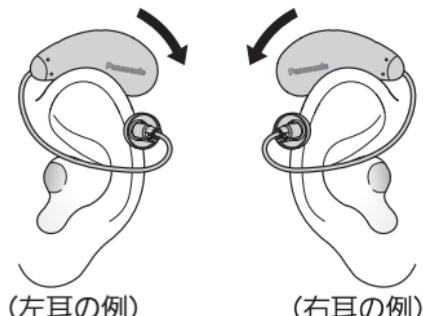
補聴器を耳につける／使用する

お客様の聞こえの状態によって、補聴器の音量や音質を調節する必要があります。
(販売店にご相談ください)

1 補聴器左耳用/右耳用を確認する



2 補聴器を耳にかける



3 イヤチップを耳孔にいれる

- ・イヤチップを耳孔の奥までいれすぎると耳を痛めおそれがあります。



4 使用する

- ・正しく装着すると、補聴器から音が聞こえます。
そのままご使用ください。



良く聞こえない／ ピーピー音が収まらない場合

1. イヤチップが耳孔に正しく挿入されないとピーピー音(ハウリング)が発生する場合があります。その場合は補聴器の位置や向きを調節してください。
2. お客様の耳孔に合ったイヤチップに交換してください。
(販売店にご相談ください)

装着時にピーピー音がするのが 気になる場合

■補聴器を装着するまでの間、ピーピー音 (ハウリング)を防止する方法

1. 補聴器の電源が『入』になってから、周りの音が聞こえ始めるまでの時間を長めに設定します。(販売店にご相談ください)
2. ミュート(消音)状態にして装着し、装着した後ミュートを解除します。
(☞47ページ)

補聴器を耳から外す

イヤホンユニットをつまんでゆっくり取り出してください。

※イラストは左耳用の例です。

イヤホンユニット(S)または(M)の場合

イヤホンユニット
のケーブルを
つまんで



イヤホンユニット(HP)の場合

テグスを
つまんで

(左耳の例)



使いかた

⚠ 注意



必ずイヤホンユニットのケーブルをつまんでゆっくり取り外す

急に取り外すと、耳を痛める原因になります。



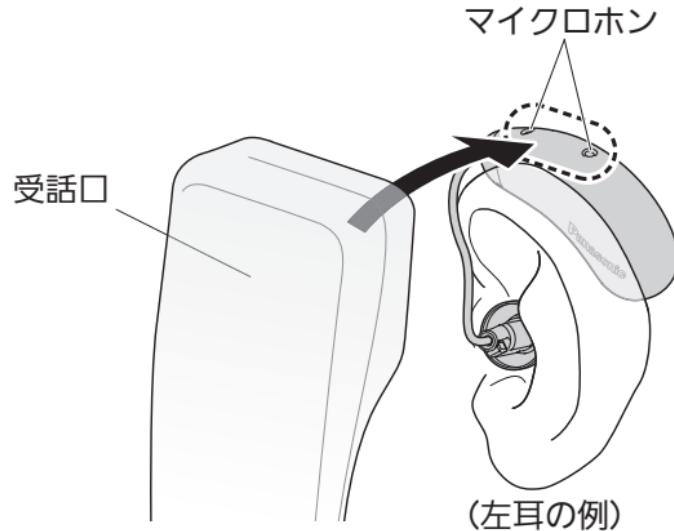
補聴器を取り外した際は、イヤチップが耳に残っていないか(補聴器にイヤチップが付いているか)確認する

イヤチップが耳孔に残った場合は、耳鼻咽喉科にご相談ください。

電話の音声を聞く

普通に電話をするように受話器を持ち、受話口を補聴器から少し離した状態でお使いください。
(携帯電話も同様にご使用いただけます)

- 1 マイクロфон(音の入力部)の位置に受話器を近づける
- 2 音声が最もよく聞こえる位置を受話器を動かし探す



- ・受話器を補聴器に近づけすぎると、ピーピー音が発生したり、まれに補聴器の電源が切れたりノイズが聞こえたりする場合があります。その場合は、受話器を補聴器から離してください。
- ・蛍光灯などの雑音源が近くにあるときは、受話器をできるだけ雑音源から離してください。

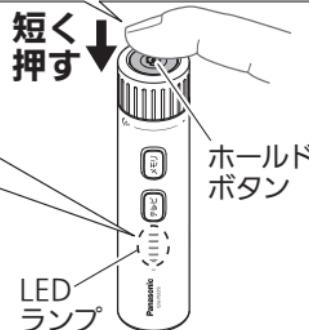
リモコンを使用する

1 補聴器をキャリングケース (または充電ケース)から取り出し、 耳に装着する(☞40 ページ)

2 補聴器を調節可能にする ホールドボタンを短く押す

- ・補聴器と無線接続し、メモリボタン・テレビボタンの切換・音量調節が可能な状態にします。
- ・短く押すごとに「調節可能」と「ホールド」が切り換わります。

カチッとなったら、すぐに指を離す



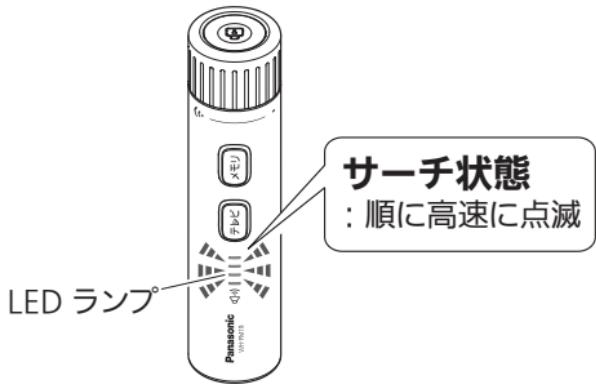
- ・ホールドボタンは長く(5秒以上)押さないでください。
補聴器がミュート(消音)になります(LEDランプ: ゆっくり点滅)。ミュートを解除する場合は、ホールドボタンを再度長く(5秒以上)押してください。(☞47 ページ)
- ・身体の正面で操作してください。
(身体の横や、鞄やポケットの中などでは通信できない場合があります)
- ・鞄やポケットに入れるとときは、補聴器をホールドしてください。
(音量ダイヤルやメモリボタンが動いて、補聴器の設定が変わることがあります)

※電池節約のため、何も操作しないで1分経過すると、補聴器はホールドになります。

※LEDランプの表示数などは補聴器の状態
によって変わります。

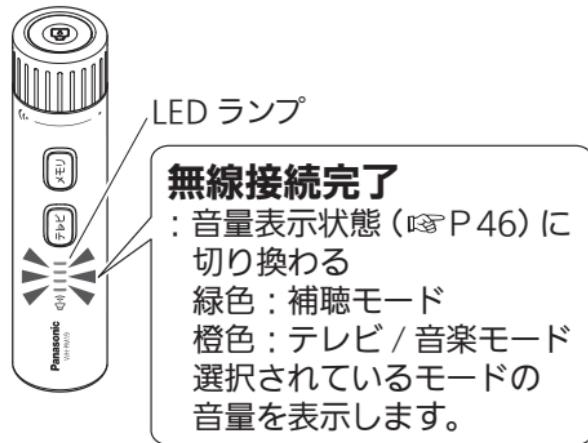
3 補聴器を自動的にサーチする

- 無線接続する補聴器を探索します。



4 補聴器と自動的に無線接続される

- 音量調節や動作モード、メモリ切換えができるようになります。



- リモコンと補聴器の通信距離: 約1 m (周りの環境や条件によって変わります)
- リモコンは身体の正面で操作してください。
(身体の横や、鞄やポケットの中などでは通信できない場合があります)
- サーチ状態が長く続いて、補聴器と接続されないときは、補聴器が動作していることを確認し、リモコンを身体の正面に持ってきて操作してください。
- 両耳登録時に片方の補聴器だけ接続できた場合は、LEDランプがゆっくり点滅します。

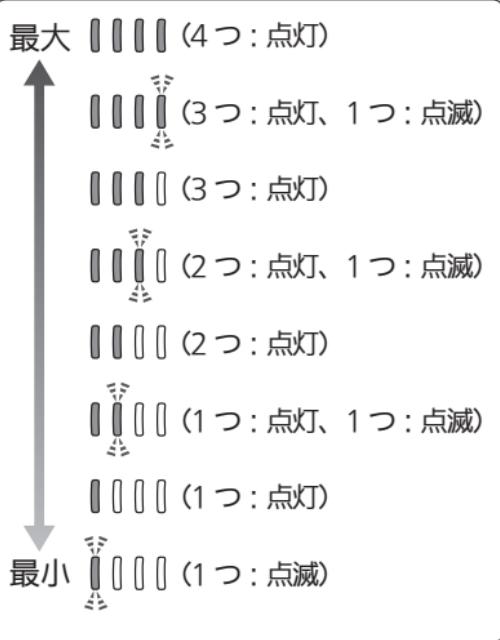
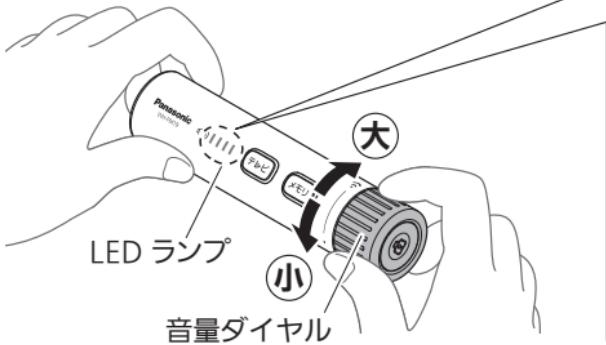
音量を調節する

1 補聴器を調節可能にする

(☞ 44 ページ)

2 音量ダイヤルを回して、 聞きやすい音量に調節する

- ・音量が変化します。



- ・身体の正面で操作してください。
(身体の横や、鞄やポケットの中などでは通信できない場合があります)
- ・補聴器の電源を『切』にして、再度『入』にすると初期音量に戻ります。
- ・初期音量は調節することができます。(☞ 54 ページ)
- ・お客様の聞こえの状態によって、さらに細かい調節ができます。(販売店にご相談ください)

ミュート(消音)にする

補聴器を使用中、または耳から外した状態でマイク音を切っておきたいとき、ミュート(消音)にすることができます。

1 補聴器を調節可能にする

(☞ 44 ページ)

2 ホールドボタンを長く(5秒以上)押す

- ボタンを押すごとに、ミュート(消音)入／切が切り換わります。



【ミュート ON】 【ミュート OFF】



- ミュート(消音)状態でも補聴器の電源は『入』になっています。

ミュートを解除したいとき

補聴器がホールドになってもミュートは解除されません。

補聴器を調節可能にして、ホールドボタンを長く(5秒以上)押してください。

しばらく使用しないときは

電池節約のためキャリングケース(または充電ケース)に入れてください。補聴器の電源を『切』にするとミュートは解除されます。

テレビモードのときは

マイク音のみミュート(消音)されます。

メモリを切り換える

- 周囲の環境や場面に応じて、音質の設定（メモリ）を切り換えることができます。
- ご要望に応じて、メモリごとの音質や使用するメモリ数などの調節ができます。
(販売店にご相談ください)

1 補聴器を調節可能にする (☞ 44 ページ)

2 補聴モードになっていることを 確認する(☞ 45 ページ)

- LED ランプが緑色に点灯します。

3 メモリボタンを押す

- 押すごとに切換え音が鳴り、メモリが切り換わります。

- メモリボタンは長く（5秒以上）押さないでください。

初期音量設定モードになります。

(☞ 54 ページ)

初期音量設定モードを解除する場合は、
補聴器をホールドしてください。

(☞ 44 ページ)

- リモコンは身体の正面で操作してください。
(身体の横や、鞄やポケットの中などでは
通信できない場合があります)



※1回押すごとに、上記のように切り換わります。

※補聴器の電源を『切』にすると、メモリ1に戻ります。

モードを切り換える

補聴器を調節可能にして、LEDランプの色を確認する

- ・緑色：補聴モードになっています。

　テレビモードに切り換える ⇒  ボタンを短く押す

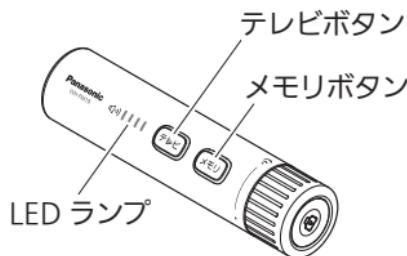
- ・橙色：テレビモードになっています。

　補聴モードに切り換える ⇒  ボタンを短く押す

補聴モード

補聴器として通常使用するモードです。

テレビからのワイヤレス音声は聞こえません。



テレビモード

テレビアダプター（別売品）を使用し、テレビなどの音声をワイヤレスで聞くことのできるモードです。

【音楽モード】(R47、R45のみ(☞ 52ページ))

音楽に適した音質で聞くことができます。
マイク音声は聞こえなくなります。

テレビボタンを短く押す

- ・押すごとにテレビモード ⇄ 音楽モードに切り換わります。

テレビ / 音楽モードでは消費電力が増え、補聴器充電池の減りが早くなります。ワイヤレス音声を聞かないときは、補聴モードでお使いください。

テレビの音声を聞く(準備)

テレビアダプター(別売品)を接続したテレビの音声を補聴器で聞くことができます。

1 テレビアダプターとテレビをオーディオコードで接続する



2 テレビとテレビアダプターの電源を入れる

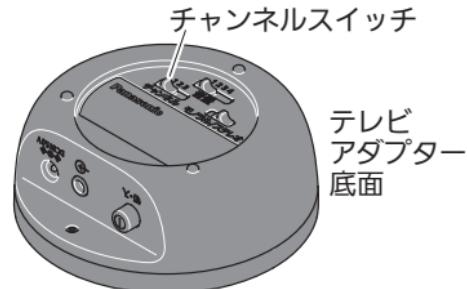
- ・テレビアダプターの電源ランプが緑色に点灯します。
- ・無線接続できなかった場合は、数十秒後に補聴モードに戻ります。

- 使いかた
- ・テレビの音声を聞くには、テレビアダプターと補聴器の無線のチャンネルが設定されている必要があります。(出荷状態では、どちらもチャンネル1に設定されています。)
 - ・テレビアダプターを複数台お使いになる場合など、チャンネルを変更する必要がある場合はテレビアダプター/補聴器それぞれの設定を変更してください。

■ 無線のチャンネルを変更する

テレビアダプター

テレビアダプター底面のチャンネルスイッチを、1または2または3に設定する。



■無線のチャンネルを変更する

リモコン

1 補聴器を調節可能にする

(☞ 44 ページ)

- ・リモコンのLEDランプが緑色に点灯または点滅します。

2 リモコンのテレビボタンを5秒以上押す

- ・リモコンのLEDランプが橙色に全点灯した後に、1つだけ点滅します。

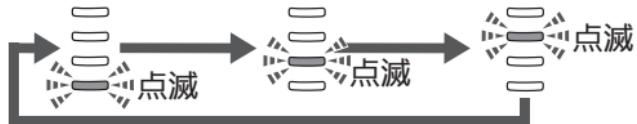


3 リモコンのテレビボタンを押し、チャンネルを選択する

- ・押すごとに点滅しているLEDランプが移動し、チャンネルが切り換わります。



【チャンネル1】 【チャンネル2】 【チャンネル3】



4 リモコンのテレビボタンを5秒以上押す

- ・選択されたチャンネルが確定します。
- ・リモコンのLEDランプが緑色に点灯または点滅します。
- ・設定をキャンセルしたい場合は、ホールドボタンを押してください。

テレビの音声を聞く(操作)

■テレビの音声を聞く

1 補聴器を調節可能にして、テレビボタンを押す

- ・数秒後に補聴器からテレビのワイヤレス音声が聞こえます。
- ・リモコンのLEDランプが橙色に点灯します。

2 音量ダイヤルを回して、聞きやすい音量に調節する

(☞ 46 ページ)

- ・音量に応じてリモコンのLEDランプの点灯数が変わります。
- ・周りの音(マイク音声)とテレビのワイヤレス音声の音量が一緒に変わります。
(音楽モードの場合はワイヤレス音声のみ)

ワイヤレス音声のみ音量調節したい場合

テレビアダプター底面のスイッチで調節できます。

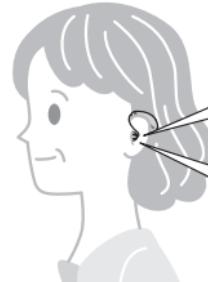
マイク音声をミュート(消音)にする場合

テレビモード中にホールドボタンを長く(5秒以上)押す(☞ 47 ページ)
・ボタンを押すごとに、ミュート(消音)入／切が切り換わります。

音質を切り換える場合

(R47、R45のみ)

リモコンのテレビボタンを押し、テレビモードと音楽モードを切り換える
・押すごとに切り換わります。



【音楽モード】
「音楽」という
アナウンスが聞こえます

【テレビモード】
「テレビ」という
アナウンスが聞こえます

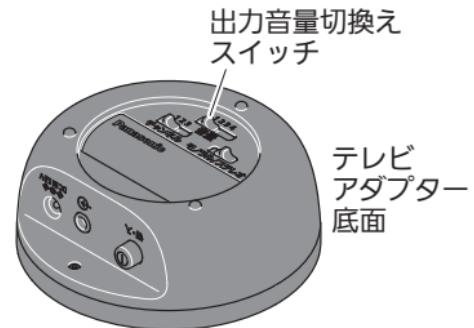
3 テレビモードを終了する

- ・テレビモードで、リモコンのメモリボタンを短く押すと、補聴モードに戻ります。
- ・リモコンのLEDランプが緑色になります。
- ・テレビモードでは消費電力が増え、充電池の減りが早くなります。

■ テレビの出力音量の調節

テレビ側のヘッドホン音量で調節できない場合

テレビアダプターの底面にある4段階の出力音量切換えスイッチで調節してください。

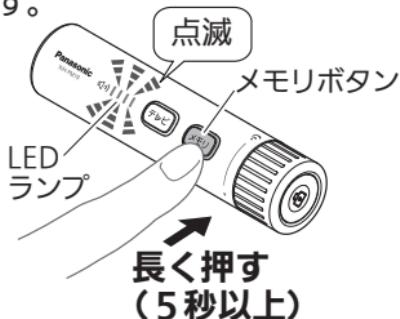


初期音量を設定する

補聴器の電源を『入』にしたときの音量を変えたい場合、リモコンを使って設定することができます。(設定の方法が分からぬ場合やさらに細かい音の調節をしたい場合は販売店にご相談ください)

1 補聴器を耳に装着し、補聴器を調節可能にする
(☞ 44 ページ)

2 メモリボタンを長く(5秒以上)押す
・「ピポッ」と音がしてLEDランプが1回点滅します。



3 音量ダイヤルを回し、音量を調節する



4 設定したい音量になったら、再度、メモリボタンを長く(5秒以上)押す
・「ピポッ」と音がしてLEDランプが1回点滅して、初期音量が設定されます。

- ・3の途中で設定をキャンセルしたい場合は、ホールドボタンを押してください。
- ・出荷時の音量設定に戻したい場合は、4で「ピポッ」と音がしてもボタンを押し続けて(10秒以上)ください。再度、「ピポッ」と音がして出荷時の設定に戻ります。

お手入れをする

■補聴器のお手入れのしかた

- 柔らかい布などで、水分や汚れを拭き取るようにそうじしてください。
(シンナー、アルコール、ベンジンなどは絶対に使わないでください)
- 付属のブラシでそうじしてください。付属のブラシ以外を使用すると、故障の原因となります。
- 音孔を下向きにしてそうじをしてください。上向きにすると、異物が音孔に入り故障の原因となります。

【イヤホンユニット】 【イヤホンユニット(HP) (S)・(M)】



■イヤチップのお手入れのしかた

(イヤホンユニット(S)または(M)の場合)

イヤチップがつまると、音が小さくなったり聞こえなくなったりします。

- イヤチップをイヤホンから取り外してそうじしてください。脱落防止のため、イヤチップは強く取り付けられています。
- イヤチップやブラシ(付属品)の汚れがひどいときは、せっけん水やぬるま湯で洗い、よく乾かしてください。
- イヤチップは乾燥後に取り付けてください。



使いかた

■補聴器をしばらく使用しない場合

上記のようなお手入れをして、水分や汚れを取り去った後、キャリングケースか充電ケース(USB-DCケーブルを抜いて)に収納して、常温の室内で保管してください。

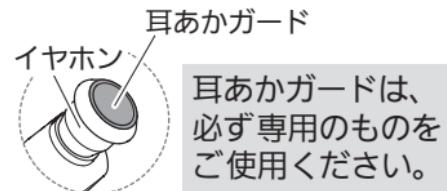
お手入れをする

つづき

■耳あかガードを交換する

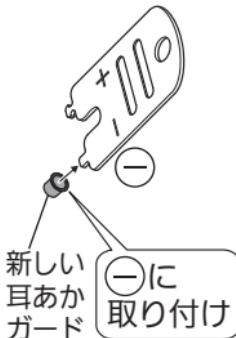
音が聞こえなくなったり小さく感じるときは、耳あかガードに耳あかなどが詰まっている場合があります。
(耳あかガードの交換は、販売店にご相談ください)

例：イヤホンユニット(S)または(M)の場合

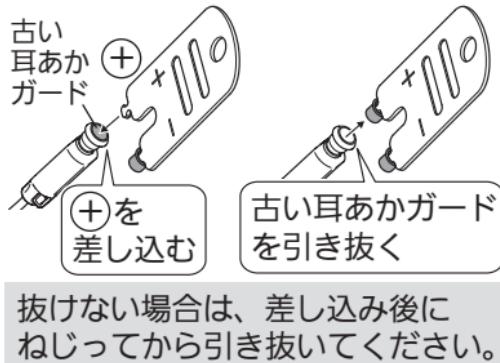


使いかた

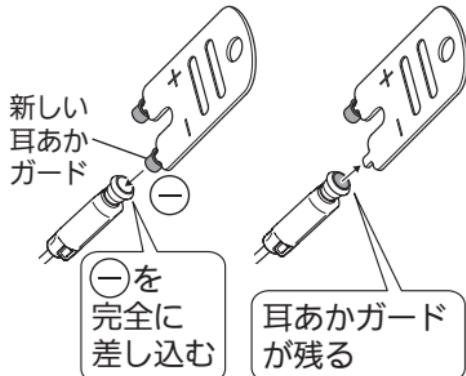
1 準備



2 古い耳あかガードを取り外す



3 新しい耳あかガードの取り付け



イヤチップソーターについて

必ず販売店にご相談ください

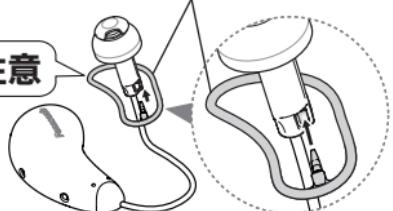
イヤチップが耳孔から外れやすい場合は、販売店にご相談のうえイヤチップソーターをお試しください。

イヤチップソーターは必ず専用のものをご使用ください。

1 イヤチップソーターをイヤホンの穴に通す

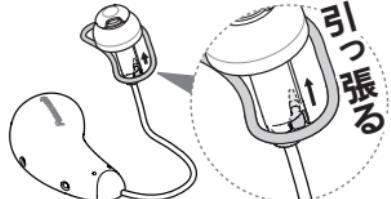
イヤチップソーター

向きに注意



2 イヤチップソーターが固定されるまで引っ張る

引っ張る



3 耳に装着する

・耳の溝に入れてください。



ご使用前に、イヤチップ・イヤチップソーターが外れかけていないか確認してください。

イヤチップソーターを取り外す場合

イヤホンを指でしっかりと固定し、イヤチップソーターを引き出して外してください。



使いかた

イヤホンユニットの交換について

専門家が専用のツールを使用して行う必要があります。
お客様自身で交換しようとせず、必ず販売店にご相談ください。

MEMO

使いかた

無線機能についてのお願い

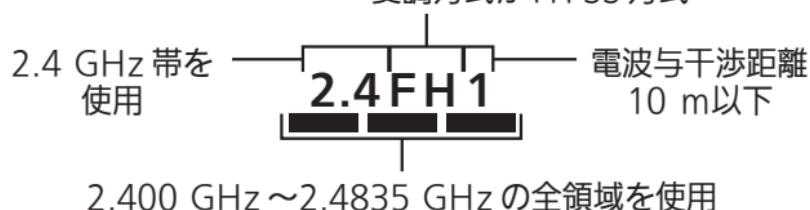
■ 使用周波数帯

補聴器本体・リモコンは2.4 GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を予防するため、下記事項に注意してご使用ください。

■ 周波数表示と技適マークについて

補聴器本体・リモコンには周波数表示を行うための面積が確保できないため、本取扱説明書にて記載します。

変調方式が FH-SS 方式



また、補聴器本体とリモコン(電池収納部内のラベル)に技適マークが表示されています。

■ 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を移動するか、または電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、下記の連絡先へお問い合わせください。
4. 補聴器・リモコンの無線機能は、日本の電波法にのみ適応しているため、使用は日本国内に限ります。また、本補聴器およびリモコンを改造し使用することは電波法違反となりますのでご注意ください。

連絡先：パナソニック 補聴器相談センター
0120-045285（フリーダイヤル）

無線機能についてのお願い

つづき

■ 他機器からの影響

- ・補聴器・リモコンとの距離が近いと電波干渉により、リモコンからの調節操作ができない場合があります。機器により以下の距離を保って使用することをおすすめします。
(電子レンジ／ワイヤレス LAN・・・約5 m以上)
- ・放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。
- ・ワイヤレス LAN を、約5 mの距離を保って使用していても、リモコンからの調節操作ができない場合は、ワイヤレス LAN の電源を切ってください。

故障と思われましたら

| 症状 | 原因 | 対策 | 参照 |
|----------------------------|-----------------|-------------------------|----|
| 音が小さくなったり、聞こえない (音が出ない) | 電池残量がなくなっている | 充電してください。 | 35 |
| | ミュート(消音)になっている | ミュートを解除してください。 | 47 |
| | 音量が下がりすぎている | 音量を上げてください。 | 46 |
| | 初期音量が下がりすぎている | 初期音量を適切な音量に設定してください。 | 54 |
| | 電話の受話器を近付けすぎている | 受話器を補聴器から少し離して使用してください。 | 43 |
| | イヤチップがつまっている | イヤチップをそうじしてください。 | 55 |
| | 耳あかガードがつまっている | 販売店で耳あかガードを交換してください。 | 56 |

故障と思われましたら

つづき

| 症状 | 原因 | 対策 | 参照 |
|-----------|---------------------|--|----------|
| ピーピー音がする | イヤチップが合っていない | イヤチップを正しく耳孔に入れてください。それでも改善しないときは、販売店にご相談のうえ、ご自分の耳に合ったイヤチップに交換してください。 | 41 |
| | 音量を上げすぎている | 音量を下げてください。 | 46 |
| リモコンが使えない | リモコンと補聴器が離れすぎている | リモコンは身体の正面で手に持って操作してください。 | 44 |
| | 補聴器がホールドになっている | 補聴器を調節可能にしてください。電池残量がなくなっている場合は、電池を交換してください。 | 44 34 |
| | 強い電磁波を出す機器が近くにある | 電子レンジやワイヤレスLANなど電磁波を出す機器から離れてください。 | 62 |
| | お客様購入品ではないリモコンを使用した | 同梱されているリモコン以外とはつながりません。購入された補聴器に同梱されているリモコンを使用してください。 | 25 |

※症状が改善されない場合は、故障の可能性がありますので販売店にご相談ください。

| 症状 | 原因 | 対策 | 参照 |
|-------------------------|-----------------------------------|--|----------|
| 充電ケースのLEDランプが1つ橙色の点灯になる | 周囲の温度が極端に高いまたは低い | 充電温度範囲(7 °C~35 °C)の環境に充電ケースを移動して充電してください。 | 39 |
| 充電ケースのLEDランプが2つ橙色の点灯になる | 規定時間内に充電が完了しない | 充電温度範囲(7 °C~35 °C)の環境で充電ケースから補聴器を取り出して再度セットしてください。症状が改善しない場合は、故障の可能性があります。販売店にご相談ください。 | 35 39 |
| 充電しても使用できる時間が短い | 充電池は微小に劣化していき、使用可能時間も少しずつ短くなっています | 満充電しても、1日の使用時間内に電池が切れてしまうなど、充電池の交換が必要になった場合は販売店にご相談ください。 | 39 |

故障と思われましたら

つづき

| 症状 | 原因 | 対策 | 参照 |
|-------------------------|------------------------|---|----|
| 充電開始時にLEDランプが点灯しない | 補聴器や充電ケースが正しくセットされていない | 充電ケースとUSB-DCケーブル、ACアダプターとコンセントの接続を確認し充電ケースから一度、補聴器を取り出して、再度、正しくセットしてください。 | 35 |
| 充電ケースのLEDランプが3つ橙色の点滅になる | 故障の可能性があります | 販売店にご相談ください。 | — |

仕様および性能(補聴器)

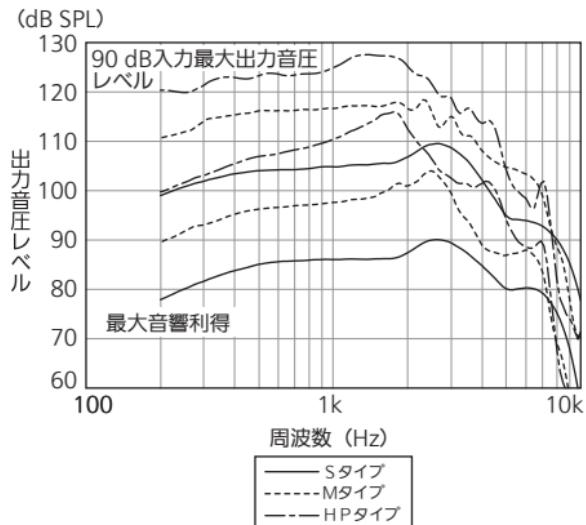
| タイプ | Sタイプ | Mタイプ | HPタイプ |
|--------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 電池の電流 | 0.8 mA | 0.8 mA | 1 mA |
| 90 dB入力 最大出力音圧 レベル | 最大OSPL90 | 111 dB SPL | 120 dB SPL |
| | HFA-OSPL90 | 107 dB SPL | 117 dB SPL |
| 最大音響利得 | 最大値 (ピーク値) | 42 dB | 56 dB |
| | HFA-FOG | 37 dB | 50 dB |
| 規準利得 | 30 dB | 40 dB | 48 dB |
| 帯域幅 f1, f2 | <200 Hz- 8 900 Hz | <200 Hz- 7 100 Hz | <200 Hz- 5 300 Hz |
| 等価入力雑音レベル | 25 dB | 25 dB | 25 dB |
| 全高調波 ひずみ | 500 Hz | 5 % | 5 % |
| | 800 Hz | 5 % | 5 % |
| | 1 600 Hz | 5 % | 5 % |

日本工業規格JIS C 5512:2015に基づいて測定、表示しております。(2 cm³カプラーを使用)

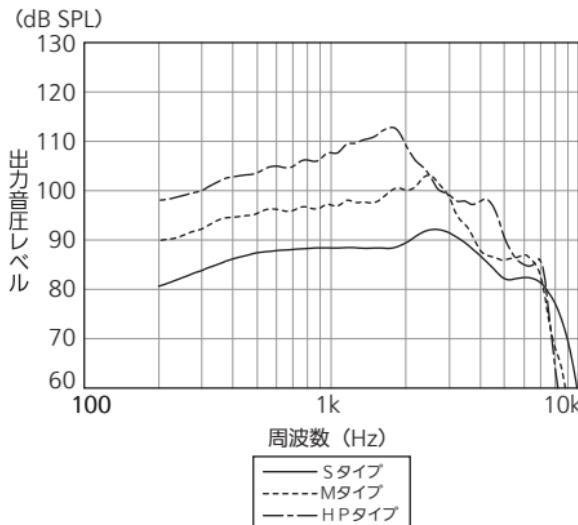
仕様および性能 (補聴器)

つづき

- 90 dB入力最大出力音圧レベル
周波数レスポンスと最大音響利得
周波数レスポンス



- 規準周波数レスポンス



| | | |
|---------------------------------|------------------------|--|
| 使用電池 | | コイン型リチウム二次電池：DC3.7 V |
| 補聴器本体の寸法 | | 39 mm (長さ) X 19 mm (幅) X 9 mm (厚さ) |
| 補聴器本体の質量 | | 約3 g (HPタイプ 約3 g ~ 7 g) |
| 充電時間 | | 約3 時間 |
| 電池持続時間 (使用環境により変わります) | 連続テレビ視聴 | Sタイプ：約8 時間 Mタイプ：約8 時間 HPタイプ：約4 時間 |
| | 連続補聴動作 | Sタイプ：約24 時間 Mタイプ：約24 時間 HPタイプ：約20 時間 |
| 電撃保護 | | 内部電源ME機器 B形装着部 |
| 無線性能 | 通信方式 | 2.4 GHz帯FH-SS (单信方式) |
| | 補聴器本体とリモコンの通信距離 | 約1 m ※使用環境により変わります |
| | その他の事項 | 60~62 ページ参照 |

仕様および性能 (充電ケース)

| | | |
|--|---------------------------------------|-------------------------------|
| 補聴器充電時間 | 約3 時間 | |
| 寸法 | 117 mm (幅) X 84 mm (奥行き) X 48 mm (厚さ) | |
| 質量 | 約117 g ※USB-DCケーブル、ACアダプター含まず | |
| ACアダプター (待機消費電力0.3 W以下) 品番: WH-PK1203J | 電源 | AC100 V - 240 V, 50 Hz/ 60 Hz |
| | 入力容量 | 10 VA (100 V) 13 VA (240 V) |
| | DC出力 | 5.0 V 800 mA |

仕様および性能(リモコン)

| | |
|----------------|---|
| 使用電池 | DC1.5 V 単4形アルカリ乾電池1本 ※パナソニック製アルカリ乾電池をおすすめします |
| 通信距離 | 約1 m ※使用環境により変わります |
| 電池持続時間 | 約90日 ※使用環境により変わります |
| 寸法 | 95 mm (長さ) × 22 mm (径: 突起部含まず) |
| 質量 | 約35 g |
| 通信方式 | 2.4 GHz帯 FH-SS (单信方式) |
| 無線性能に関するその他の事項 | 60~62 ページ参照 |

MEMO

その他

MEMO

その他

保証とアフターサービス

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名

電話 () -

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障と思われましたら」(☞63~66ページ)に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源を切ってから、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

| | |
|--------|-----------|
| ●販売名 | R4シリーズ |
| ●品番 | WH- |
| ●故障の状況 | できるだけ具体的に |

●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれりますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：補聴器はお買い上げ日から2年間、

リモコン、充電ケース、USB-DCケーブル、ACアダプターは1年間

その他の付属品は消耗品ですので、保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

※修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、この補聴器の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後7年保有しています。

- 故障原因の確認や修理後の調整に一式が必要となる場合がありますので、修理を依頼される際には、故障内容にかかわらず、補聴器（左耳用、右耳用）、リモコン、充電ケースの一式をご持参ください。

■お問い合わせは、下記へ

ご使用の回線（IP電話や光電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

パナソニック 補聴器相談センター

電話
フリー
ダイヤル



受付9時～17時30分
(日、祝、年末年始、お盆を除く)
0120-045285

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

※上記の内容は予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。

なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

補聴器の廃棄について

お使いの補聴器は小型家電リサイクル法の対象品目です。
廃棄の際はお住まいの市区町村の条例に従ってください。または、下記のパナソニック補聴器相談センターまでお問合せください。

愛情点検

長年ご使用の補聴器の点検を！



こんな症状はありませんか

- ・充電ケースのACアダプターやUSB-DCケーブルが異常に熱い
- ・煙が出たり、異常なにおいや音がする
- ・内部に水や異物が入った
- ・その他の異常な故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切ったあと、コンセントからACアダプターを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

■お問い合わせは、下記へ

パナソニック 補聴器相談センター

電話



受付9時～17時30分
(日、祝、年末年始、お盆を除く) ※携帯電話・PHSからも
ご利用になれます。

フリー

ダイヤル

0120-045285

※上記の内容は予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

ご使用の回線(IP電話や光電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

パナソニック補聴器株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島4丁目1番62号

© Panasonic Hearing Instruments Co., Ltd. 2018

Printed in Malaysia
PNQX8588WA/M1
P0817-3058

